

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 2月 28日

事業所名 まどか 放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	12	0	0		訓練室のパーテーションの境の位置で全体 が見えるようになって いる。
	②	職員の配置数は適切である	10	2	0		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	8	4	0		
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	9	3	0		わからない
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	10	2	0		わからない
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	11	1	0		わからない
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	4	3	5		わからない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	10	2	0		わからない
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	12	0	0		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	5	6	1		個支に沿って支援して いるため標準化という 概念が不明 わからない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	12	0	0		各グループに分かれて 都度内容が変わってい る。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	9	3	0		わからない
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	10	1	1		個別療育は一部の利 用者のみ行っている
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	12	0	0		各々連携を取り合っ て全体共有も行えてい る。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	0	0		退勤してしまっている ので分からない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	0		わからない
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	1	0		わからない
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	9	3	0		わからない
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	1	0		わからない
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	2	1		保護者より提出がある 連絡帳の使用。 わからない
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	5	2		該当する利用者がいないのでは 発達遅滞の子供たちの対応。 わからない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	3	0		わからない
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5	2		わからない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	0		市で開催している放デイの研修に参加している わからない
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	2	9		わからない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	7	4	1		特支連絡会、放デイ連絡会へ参加している わからない
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	0		わからない
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	4	1		相談は行っているがペアレント・トレーニングは行っていない 記録にてお伝えしている 記録を通して質問があった場合に助記している	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	1	0		同意書類などしっかり取得している。 わからない
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1	0		わからない
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	9		わからない
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2	0		わからない
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4	3		会報はやっていないが その他は行っている わからない
	③⑮	個人情報に十分注意している	12	0	0		
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	0		
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4	5		マジックショー 障害者週間機関に作品展示をしている わからない
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1	0		わからない
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	0		わからない
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	1	0		わからない
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	1	0		わからない
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3	1		医師の指示書をくれる所はやっている。基本保護者発信
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	2	0		わからない

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
--	--------	----	---------------	-----	---------	------------------------------

事業所の課題点および改善方法については下記に示します。

【「わからない」という回答について】

昨年度同様に「わからない」という回答が散見されました。事業所として取り組んでいる内容や周知する機会は事業所として設けてきました。しかし出勤日や出勤時間の関係で周知が追いついていない・実際に見る機会がないのではないかと推察されます。今後は今年度以上に定期的に事業所が取り組んでいる内容を周知する機会を設け、職員の理解を促していきたいと思えます。

【職員間の知識の差について】

同じ項目でも回答にばらつきがある傾向が見られました。これは職員の知識さに因るものだと推察されます。項目29のペアレントトレーニングに実施についてだと、ペアレントトレーニングをどのように捉えているかによって回答が変わってきてしまいます。例えばペアレントトレーニングの専門的なプログラムを組んで複数回実施するという意味のペアレントトレーニングは実施はしておりません。日々の保護者からの相談を受け、アドバイスをしているという実績が事業所側にあるため一概に実施していないとも言えない状況であると推察されます。他にも項目10の標準化されたアセスメントツールという文言だけ切り取っても「尺度の得点を正しく評定するための基準をその尺度が対象とする集団の中で設定していく」とうことを指しているのか、「誰もが同じように成果を挙げられるように業務プロセスを組織的に最適化すること」を指しているのかによっても質問項目の捉え方すら変わってしまうため、今後は職員間の知識差を埋めるために研修を行っていきたくて考えております。